

令和4（2022）年度博士前期課程（一般選抜・秋期試験）問題 目次

| 外国語試験                   |                       |            | ページ   |
|-------------------------|-----------------------|------------|-------|
| 英語・ドイツ語・フランス語・露語・中国語・西語 |                       |            | 1-7   |
| 専門試験                    |                       |            | ページ   |
| 人文学専攻                   | 哲学コース                 | 哲学哲学史      | 8-9   |
|                         |                       | 科学技術社会論    | 10-11 |
|                         |                       | 臨床哲学       | 12    |
|                         |                       | 中国哲学       | 13    |
|                         |                       | インド学・仏教学   | -     |
|                         | グローバルヒストリー・<br>地理学コース | 東洋史学       | 14-19 |
|                         |                       | 西洋史学       | 20-22 |
|                         |                       | 人文地理学      | 23-25 |
|                         | 文学コース                 | 中国文学       | -     |
|                         |                       | 英米文学       | 26-29 |
|                         |                       | ドイツ文学      | -     |
|                         |                       | フランス文学     | 30-31 |
|                         |                       | テキスト環境論    | 32-35 |
|                         | 比較・対照言語学コース           | 比較・対照言語学   | 36-38 |
| 日本学専攻                   | 基盤日本学コース              | 現代日本学      | 39    |
|                         |                       | 日本史学       | 40-47 |
|                         |                       | 考古学        | 48-49 |
|                         |                       | 日本文学・日本語史学 | 50-55 |
|                         |                       | 基盤日本語学     | 56    |
| 芸術学専攻                   | アート・メディア論コース          | アート・メディア論  | 57-60 |
|                         | 美学・文芸学コース             | 美学         | -     |
|                         |                       | 文芸学        | -     |
|                         | 音楽学・演劇学コース            | 音楽学        | 61-63 |
|                         |                       | 演劇学        | 64-67 |
|                         | 日本東洋美術史・西洋美術史コース      | 日本東洋美術史    | 68-71 |
|                         |                       | 西洋美術史      | 72-74 |

令和4（2022）年度  
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻  
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題  
外国語試験 英語  
[問題用紙は2枚です。]  
（1枚目／2枚中）

★一題ごとに別の解答用紙を用い、問題番号を記入すること。

I. 次の英文を読み、下線部を日本語に訳しなさい。ただし、作品名と人物名は英語表記のままが良い。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。

なお、出典は以下の通りです。

【出典】Egil Törnqvist, *The Serious Game: Ingmar Bergman as Stage Director* (Amsterdam: Amsterdam UP, 2015). 101 頁 11 行～18 行. 一部変更.

II. 次の英文を読んで、全文を日本語に訳しなさい。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。

なお、出典は以下の通りです。

【出典】Christopher Booker, *The Seven Basic Plots: Why We Tell Stories*. London: Bloomsbury, 2004. p.21.14～19

(2 枚目／2 枚中)

Ⅲ. 次の文章の下線部を英語に訳しなさい。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。

なお、出典は以下の通りです。

【出典】 稲垣栄洋 2020. 『はずれ者が進化をつくる一生き物をめぐる個性の秘密』 筑摩書房. Kindle 版, No. 1406-1412

令和4(2022)年度  
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻  
(博士前期課程／一般選抜・秋期試験)入学者選抜試験問題  
外国語試験 ドイツ語  
[問題用紙は1枚です]  
(1枚目／1枚中)

問題1 次のドイツ語文を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

(出典: Kaschuba, Wolfgang: *Die Überwindung der Distanz*, Frankfurt 2004, S.102, Z.1-9.  
なお出典に際して本文を改編している。)

問題2 次のドイツ語文を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

(出典: Bäumler, Helmut und von Mutius, Albert (Hgg.): *Anonymität im Internet*, Wiesbaden  
2003, S.3, Z.7-12. なお出典に際して本文の一部を改編している。)

令和4（2022）年度  
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻  
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題  
外国語試験 フランス語  
〔問題用紙は1枚です。〕

問1 次の文章を日本語に訳しなさい。

【問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。  
<https://fr.news.yahoo.com/>, Franceinfo, 2020年8月15日, « Après des années de controverses, la princesse Mako... »】

注) indemnité : 手当金    roturier : 一般人    paiement forfaitaire : 一時金

問2 次の文章を日本語に訳しなさい。

【問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。  
*Femmes et littérature. Une histoire culturelle. I : Moyen Âge – XVIII<sup>e</sup> siècle*, sous la direction de Martine Reid, Paris, Gallimard, « Folio Essais », 2020, p. 727, l. 14-22.】

注) relever de... : ～に属する、依存する    plaider pour... : ～を弁護する

令和4（2022）年度  
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻  
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題  
外国語試験 露語  
〔問題用紙は1枚です。〕  
（1枚目/1枚中）

以下の文章を読んで、問いに答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

（出典： [https://ru.wikipedia.org/wiki/Летние\\_Олимпийские\\_игры\\_2020](https://ru.wikipedia.org/wiki/Летние_Олимпийские_игры_2020) （一部省略））

1. 下線を引いた数字をロシア文字で記し、各語のアクセント音節の母音に'を加えなさい。
2. 上の文章の内容をわかりやすい日本語で記しなさい。

令和4（2022）年度  
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻  
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題  
外国語試験 中国語  
〔問題用紙は2枚です。〕

I 次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。

\*著作権を考慮して原文を非公開とします。

（叶圣陶《多收了三五斗》により一部改変，《叶圣陶集》江苏教育出版社，1987，p317）

問1 下線部(a)を拼音字母に改めよ。

問2 全文を日本語に訳せ。

II 次の文章を読んで、あとの問いに答えよ。

\*著作権を考慮して原文を非公開とします。

（朱自清《古诗十九首释》により一部改変，《古诗歌笺释三种》上海古籍出版社，1981，p217）

問1 下線部(a)を拼音字母に改めよ。

問2 全文を日本語に訳せ。

令和4（2022）年度  
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻  
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題  
外国語試験 スペイン語  
〔問題用紙は1枚です。〕  
（1枚目/1枚中）

問1 次の文章について、全文を日本語に訳しなさい。

（出典：プラド美術館ウェブサイト：<https://www.museodelprado.es/coleccion/pintura-espanola> 2021.10.13.閲覧 [一部省略]）

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は上記のとおりです。

問2 次の文章について、全文を日本語に訳しなさい。

（出典：José Vasconcelos. *La raza cósmica*. 2012. México: Editorial Porrúa: p.39, 1-9行）

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は上記のとおりです。



(1枚目/2枚中)

令和4(2022)年度  
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻  
(博士前期課程/一般選抜・秋期試験) 入学者選抜試験問題  
人文学専攻 哲学コース (哲学哲学史受験分野) 専門試験

[問題用紙はこの用紙を含めて2枚です。]

注意 ①解答はすべて添付の所定の解答用紙に記入すること  
②問題用紙は持ち帰ること

I. 以下の英語文を日本語に全訳しなさい。

英語

In the contemplation of that uniformity in the course of nature, which is assumed in every inference from experience, one of the first observations that present themselves is, that the uniformity in question is not properly uniformity, but uniformities. The general regularity results from the coexistence of partial regularities. The course of nature in general is constant, because the course of each of the various phenomena that compose it is so. A certain fact invariably occurs whenever certain circumstances are present, and does not occur when they are absent; the like is true of another fact; and so on. From these separate threads of connexion between parts of the great whole which we term nature, a general tissue of connexion unavoidably weaves itself, by which the whole is held together.

(John Stuart Mill, *A System of Logic, Ratiocinative and Inductive*, Vol. 1 (9th Ed.), Longmans, Green, Reader, and Dyer, 1875, p. 364, l. 1-14.)

II. 現実と虚構の関係について論じなさい。

III. 以下の術語の中から、2項目を選択し、その番号を記した上で3行程度で説明しなさい。

1. アレテー
2. 思惟実体と延長実体
3. 観念連合
4. 意義と意味 (フレーゲ)
5. 大きな物語

令和4（2022）年度  
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻  
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題  
人文学専攻 哲学コース（科学技術社会論受験分野） 専門試験  
[問題用紙は2枚です。]  
（1枚目/2枚中）

|                                          |
|------------------------------------------|
| 注意 ①解答はすべて所定の解答用紙に記入すること<br>②問題用紙は持ち帰ること |
|------------------------------------------|

I 次の英文を読み、日本語で5行程度で要約しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Justus Lentsch and Peter Weingart eds., *The Politics of Scientific Advice: Institutional Design for Quality Assurance*, Cambridge University Press, 2011, p. 297, ll. 7-28.

( 2 枚目 / 2 枚中 )

II 以下の語句の中から、3 項目を選択し、その番号を記した上で 3 行程度で解説しなさい。

- 1 プラネタリー・バウンダリー (地球環境の境界)
- 2 反証可能性
- 3 シチズンサイエンス
- 4 人新世
- 5 ピア・レビュー

III 現在の日本の科学技術政策における課題を一つ選んで具体的に論述し、その課題に対する解決策を日本語で書きなさい。その上で、その要約を 5 行程度の英文で書きなさい。

令和4（2022）年度  
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻  
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題  
人文学専攻 哲学コース（臨床哲学受験分野） 専門試験  
〔問題用紙が1枚・添付資料が2枚、全部で3枚です〕  
（1枚目／3枚中）

問題1 次のA～Eの中から2つを選び、簡潔に論じなさい。

- A. 他者とはだれのことか、哲学・倫理学の学説に関連づけて論じなさい。
- B. 対話とはどのような営みであるのか、哲学・倫理学の学説に関連づけて論じなさい。
- C. 身体の自己決定をめぐる、異なるいくつかの考え方について論じなさい。
- D. ジェンダー本質主義をめぐる論争について、哲学・倫理学の視点から論じなさい。
- E. 「当事者」概念のあいまいさについて、多角的な視点から論じなさい。

問題2 別紙資料において、筆者は、日本人の多くが「日本に人種差別は存在しない」と信じている傾向にあることを批判的に検討しています。この資料の内容に言及しながら、あなた自身が「日本人と人種差別」に対してどのような考えをもっているのか、自由に論じなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。  
小出川正二郎『現実を解きほぐすための哲学』（株式会社トランスビュー）2020年86～90頁2行）

令和四（二〇二二）年度

大阪大学大学院人文科学研究科 人文専攻・日本学専攻基礎日本学コース・芸術学専攻

（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題

人文学専攻 哲学コース（中国哲学 受験分野）専門試験

〔問題用紙は1枚です。〕

（1枚目／1枚中）

〔問一〕次の文章を読んで後の設問に答えなさい。（※解答はすべて解答用紙に縦書きで記すこと。）

東海有鳥焉、其名曰意怠。<sup>①</sup>其為鳥也、<sup>\*</sup>𦏧𦏧𦏧𦏧、而似无能。引援而飛、迫脅而棲。進不敢為前、退不敢為後。食不敢先嘗、必取其緒。是故其行列不斥、而外人卒不得害。是以免於患。直木先伐、甘井先竭。子其意者、飾知以驚愚、修身以明汙、<sup>\*</sup>昭昭乎如揭日月而行、故不免也。

昔吾聞之大成之人曰、自伐者无功、功成者𦏧、<sup>②</sup>名成者虧。孰能去功與名而還與衆人。道流而不明居、<sup>\*</sup>得行而不名處。純純常常、<sup>\*</sup>乃比於狂。削迹捐勢、不為功名。是故无責於人、人亦无責焉。

\*𦏧𦏧𦏧𦏧——羽ばたく音。

\*汙——悪行。

\*得——徳と同じ。

\*純純常常——愚かではつきりしないさま。

（1）傍線部①を読み下しなさい。

（2）傍線部①を分かりやすく現代語訳しなさい。

（3）傍線部②を読み下しなさい。

（4）傍線部②を分かりやすく現代語訳しなさい。

（5）本文から読み取れる思想的特徴について記述しなさい。

〔問二〕次の各語について解説しなさい。

（1）馬王堆帛書

（2）郭象

（3）芸文志

（4）文心雕龍

（5）周易略例

（6）忘書

（7）太極図説

（8）四書集注

（9）鵝湖の会

（10）天誦説

〔問三〕次の題目について、小論文を記述しなさい。

「無」の思想について

令和4（2022）年度  
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻  
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題  
人文学専攻 グローバルヒストリー・地理学コース （東洋史学受験分野） 専門試験  
[問題用紙は6枚です。]  
(1枚目/6枚中)

[問題用紙は6枚です。Ⅰ～Ⅳについて、それぞれ別々の解答用紙を使用すること]

Ⅰ 論述問題

次の2問から1問を選び、解答しなさい。解答に当たっては、いずれを選んだかを冒頭に記入すること。

- (A) アジア史上のメディアについて、特定の時代・地域を複数選び、特に社会との関わりに焦点を当てて論述しなさい。ただし、冒頭にて「メディア」を簡単に定義すること。
- (B) 20世紀における中国とアメリカ合衆国との関係について、歴史的に論述しなさい。

Ⅱ 基礎事項問題

次の(a)～(j)の事項について知るところを、それぞれ2行程度で簡潔に答えなさい。

[問題Ⅰとは別の解答用紙を用いること]

- |             |                    |                           |        |
|-------------|--------------------|---------------------------|--------|
| (a) 『大唐西域記』 | (b) 王国維(1879-1927) | (c) シャイレンドラ (Śailendra) 朝 |        |
| (d) 澶淵の盟    | (e) 「混一疆理歴代国都之図」   | (f) シーア派                  | (g) 倭寇 |
| (h) 文字の獄    | (i) 理藩院            | (j) 北京議定書                 |        |

### Ⅲ 漢文問題

次の漢文は、清代の趙翼が著した『廿二史劄記』巻 24 宋史・史家一人兩傳の一部分である。これを読んで、下の問いに答えなさい。なお、一部の箇所では標点を省略している。

① 史傳人物太多修之者非一人不暇彼此  
審訂遂有一人而重出者。  
② 如顧寧人指出元史列傳中第八卷之速  
不台即第九卷之雪不台。十八卷之完者都  
即二十卷之完者拔都。三十七卷之石抹也  
先即三十九卷之石抹阿辛。皆是一人兩  
傳。可見修史者之草率從事。  
③ 然蒙古以國語為名，譯作漢字，但取其  
音之同，而字不必畫一，致有此誤，猶有  
說也。  
若舊唐書列傳之七十二既有楊朝晟，九  
十四又有楊朝晟。五十一既有王求禮，一  
百三十七又有王求禮，宋史列傳之一百十  
六既有李熙靖，二百十二又有李熙靖。考  
④ 其事跡實係一人並非偶同姓名者。

語注 顧寧人：顧炎武（1613-82）のこと

- 問 1 傍線部①をすべてひらがなで書き下しなさい。  
問 2 傍線部②を現代日本語訳しなさい。  
問 3 傍線部③を現代日本語訳しなさい。  
問 4 傍線部④をすべてひらがなで書き下しなさい。



(3 枚目/6 枚中)

#### IV 選択外国語問題

下の(1)～(5)から 1 問を選んで解答しなさい。選択した問題番号を記入すること。

##### (1) 英語問題

次の英語の文章をすべて日本語に訳しなさい。ただし、注番号は無視すること。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

[L. Liu, *The Dutch East India Company's Tea Trade with China 1757-1781* (Leiden: Brill, 2007), p. 68, ll. 5-16]

(4 枚目/6 枚中)

(2) ドイツ語問題

次のドイツ語の文章をすべて日本語に訳しなさい。ただし、注番号は無視すること。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

[N. Pallisen, "Die alte Religion der Mongolen und der Kultus Tschingis-Chans." *Numen* 3-3, 1956, p. 178]

(3) フランス語問題

次のフランス語の文章をすべて日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

[G.-J. Pinault, "Les manuscrits tokhariens et la littérature bouddhique en Asie centrale." *Comptes rendus des séances de l'Académie des Inscriptions et Belles-Lettres* 135-1, 1991, p. 229]

(5 枚目/6 枚中)

(4) ロシア語問題

次のロシア語の文章をすべて日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

[Б. Б. Бартольд, *Сочинения*, том VIII, Москва: Наука, 1973, p. 63]

(6 枚目/6 枚中)

(5) 中国語問題

次の中国語の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

【邱涛『中華民国反貪史』（蘭州：蘭州大学出版社，2004）p. 317, ll. 38-34。ただし字句は適宜改めた】

問 1 文中の下線部（ア）～（エ）のピンインをすべて漢字に直しなさい。なお、字体（簡化字または繁体字）は、問題文に合わせることに。

問 2 文中の下線部 (a)～(d)の漢字を、すべて標準漢語ピンインに直しなさい（声調も付すこと）。

問 3 上の中国語の文章全体を、日本語に訳しなさい（下線部分のピンインも訳すこと）。

令和4（2022）年度  
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻  
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題  
人文学専攻 グローバルヒストリー・地理学コース （西洋史学受験分野） 専門試験  
〔問題用紙は3枚です。〕

注意：解答は、別紙解答用紙に問題番号を書いてから記入しなさい。また、各問題の枝間の記号や番号も記すこと。

設問1. ①と②から1問を選択し、解答しなさい。

- ① 来年度から新たに高等学校の「必修科目」として始まる「歴史総合」では、歴史と現代の諸課題との結びつきを考察することが求められている。歴史学（西洋史）研究の現代性（アクチュアリティ）について、どのように考えたらよいか。
- ② 歴史上、「危機」は、しばしば政治的意図によって生み出され（捻出され）、利用されるものでもあった。そうした事例に関して、具体的に論述せよ。

設問2. ①～⑦の語句のなかから3つを選択し、説明しなさい。

- ① エゴ・ドキュメント
- ② プロト工業化
- ③ イマニュエル・ウォーラーステイン Immanuel Wallerstein
- ④ 遠読
- ⑤ 托鉢修道会
- ⑥ 文芸共和国
- ⑦ アナール学派

設問 3.

次の英文は、A. G. Hopkins, 'Globalisation and decolonisation' からの引用です。  
この英文を読んで、下記の二つの設問に答えなさい。

1. 下線部の英文を、日本語で翻訳しなさい。
2. この英文で著者が主張する論点は、二つある。その二つの論点を、日本語でまとめなさい（あわせて、600 字程度）。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

A. G. Hopkins, *Africa, Empire and World Disorder: Historical Essays*, London and New York: Routledge, 2021, Chap.12 'Globalisation and decolonisation', p. 281, l. 24~p. 282, l. 39.



令和4（2022）年度  
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻  
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題  
人文学専攻 グローバルヒストリー・地理学コース （人文地理学受験分野）  
専門試験

〔問題用紙は3枚です。〕  
（中辞典程度の英語辞書の持ち込みを可とします）  
（1枚目/3枚中）

以下の問い（問1～問4）に答えなさい。解答は、解答用紙に記入すること。

問1

次の（a）～（d）の研究者の中から1人を選んで、学界における研究成果について具体的な文献も挙げて解説しなさい。なお、選んだ人名を明記すること。

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| （a）レジナルド・ゴレッジ | （b）トルステン・ヘーゲルストランド |
| （c）ピーター・ハゲット  | （d）アンリ・ルフェーブル      |

問2

次の（a）～（g）は、地理学に関連する研究テーマまたは対象を挙げたものである。これらの中から1つを選んで解説しなさい。その際に、関連する研究者の氏名と業績にも言及すること。なお、選んだ項目のアルファベットを明記すること。

- |          |            |         |         |
|----------|------------|---------|---------|
| （a）近隣効果  | （b）スーパーシティ | （c）世界都市 | （d）退耕還林 |
| （e）多重共線性 | （f）地政学     | （g）MaaS |         |

問3

次の（a）～（d）の問いの中から1つを選んで解答しなさい。なお、選んだ項目のアルファベットを明記すること。

- （a）行動地理学の性格に関して、行動と意思決定との関係性をふまえて論じなさい。
- （b）2022年度からの高等学校での地理必修化の要点と課題に関して論じなさい。
- （c）世界の農業の主な類型をいくつか挙げ、環境適応の側面からその特徴を論じなさい。
- （d）地域生活機能のディプライベーションに関して論じなさい。



(2枚目/3枚中)

問4

つぎの英文を読んで、下の問い(問ア・問イ)に答えなさい。

【問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は下記のとおりです。】

- Herrmann, V. S. (2019) "Rural Ruins in America's Climate Change Story: Photojournalism, Perception, and Agency in Shishmaref, Alaska". *Annals of the American Association of Geographers*, 109(3), pp.857-874  
のうち、p.858 右段 1.6～p.859 右段 1.14 より一部抜粋・改変。

(3枚目/3枚中)

問ア

上の英文で語られている災害の概要・原因・結果・あるべき対策について述べなさい。

問イ

第二段落 (As climate change ~ to relocate.) の全文を和訳しなさい。

令和4（2022）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻

（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題

人文学専攻 文学コース（英米文学受験分野）専門試験

[問題用紙は5枚です。]

（1枚目／5枚中）

★一題ごとに別の解答用紙を用い、問題番号を記入すること。

I 次の英文を読んで、下の設問に答えなさい。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。

なお、出典は以下の通りです。

- (1) 下線部を日本語に訳しなさい。
- (2) この文章で展開される物語世界の typicality と exemplarity をめぐる議論を要約し、またそれに対してどのように考えるか日本語で論述しなさい。

【出典：Félix Martínez-Bonati, *Don Quixote and the Poetics of the Novel*. Cornell UP, 1992. p.138 l.12～p.140 l.4】

II 次の小説の一部を読んで、主要登場人物 Leo と Saizman をめぐってどのような物語的状況が読み取れるか、100～150 語程度の英語で説明しなさい。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。

なお、出典は以下の通りです。

【出典：Bernard Malamud, "The Magic Barrel," *The Heath Introduction to Fiction*. Ed. John J. Clayton. Heath, 1992. p. 612 l. 43～p. 614 l. 3】

III 次の詩を読んで、下の設問に答えなさい。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。

なお、出典は以下の通りです。

- (1) この詩の第3連と第4連を日本語に訳しなさい。
- (2) この詩全体のモチーフおよびフォーム（形式）について解説しなさい。

【出典：Kazuo Ogoshi (ed.), *Landmarks in English Literature: An Anthology* (Kyoto: Apollon-sha, 1985), p. 79, l. 18-p. 80, l. 7】

IV 次の日本語の下線部を、英語に訳しなさい。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。

なお、出典は以下の通りです。

【出典：越川芳明・杉浦悦子・鷺津浩子編、『〈法〉と〈生〉から見るアメリカ文学』、悠書館、p.341, ll.1-6.】

令和4（2022）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻  
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題

人文学専攻 文学コース（テキスト表現論・フランス文学受験分野） 専門試験

〔問題用紙は2枚です。〕

問1 次の文章を日本語に訳しなさい。

[...] une société d'Athées pratiquerait les actions civiles et morales aussi bien que les pratiquent les autres sociétés, pourvu qu'elle fit sévèrement punir les crimes et qu'elle attachât de l'honneur et de l'infamie à certaines choses. Comme l'ignorance d'un premier Être créateur et conservateur du monde n'empêcherait pas les membres de cette société d'être sensibles à la gloire et au mépris, à la récompense et à la peine, et à toutes les passions qui se voient dans les autres hommes, et n'étoufferait pas toutes les lumières de la Raison, on verrait parmi eux des gens qui auraient de la bonne foi dans le commerce, qui assisteraient les pauvres, qui s'opposeraient à l'injustice, qui seraient fidèles à leurs amis, qui mépriseraient les injures, qui renonceraient aux voluptés du corps, qui ne feraient tort à personne, soit parce que le désir d'être loués les pousserait à toutes ces belles actions qui ne sauraient manquer d'avoir l'approbation publique, soit parce que le dessein de se ménager des amis et des protecteurs en cas de besoin les y porterait.

注) athée : 不信仰者    faire tort à... : ～に迷惑をかける

se ménager... : (自分のために) ～を作る、用意する

【出典 : Pierre Bayle, *Pensées diverses écrites à un docteur de Sorbonne, à l'occasion de la comète qui parut au mois de décembre 1680*, 6<sup>e</sup> édition, dans *Œuvres diverses* III, Reprografischer Nachdruck der Ausgabe Den Haag, 1727 ; Georg Olms, Hildesheim, 1966, p. 109 droite l. 50 – p. 110 gauche l. 6 (綴りは現代表記に直し、一部の句読点を削除した)】

〔1枚目／2枚中〕

問2 次のA～Fの人名または用語から2つを選び、それぞれについて3～5行程度の日本語で説明しなさい。

- A. Charles Baudelaire
- B. Pierre Corneille
- C. Ordonnance de Villers-Cotterêts
- D. Philosophie des Lumières
- E. Prix Goncourt
- F. François Villon

問3 あなたのこれまでの研究と今後の研究主題について、フランス語で具体的に論じなさい。

[2枚目／2枚中]



令和4（2022）年度  
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻  
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題  
人文学専攻 文学コース（テキスト環境論受験分野） 専門試験  
〔問題用紙は4枚です。〕  
（1枚目/4枚中）

I 次の英文を読み、後の問いに答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

出典：Graham Allen, *Intertextuality* (Routledge, 2000, p. 174, l. 1 – p. 175, l. 2)

(イ) 括弧「 」内を日本語に訳しなさい。

(ロ) 一重下線部において絵画と建築について言われていることを文学に当てはめるとどうなりますか。一つの文学テキストと、先行する文学的“languages”との関係について、具体例を挙げて説明しなさい。その際、先行する文学的“languages”がどのような“languages”であるかを示すこと。

(ハ) 二重下線部“Films, symphonies, buildings, paintings, just like literary texts, constantly talk to each other as well as talking to the other arts.”とあるが、文学テキストが“the other arts”と“talk”している具体例を一つ挙げ、それがどのような“talk”であるか説明しなさい。

- Ⅱ 下の文章を読んで、翻訳された詩の工夫や特徴について、Tennyson の原文の詩と比較しながら分析して論じなさい。Tennyson は 19 世紀英国の詩人で、この詩は 1863 年に発表されました。訳詩は、日夏耿之介編訳『英国神秘詩鈔』(1922)に収録されました。

出典は、Edmund Clarence Stedman (ed.), *A Victorian Anthology, 1837-1895* (London: Houghton Mifflin, 1895), p.211 及び『日夏耿之介全集』第二巻 (河出書房新社, 1977) , p.22 です。

## FLOWER IN THE CRANNIED WALL

FLOWER in the crannied wall,  
I pluck you out of the crannies,  
I hold you here, root and all, in my hand,  
Little flower — but if I could understand  
What you are, root and all, and all in all,  
I should know what God and man is.

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

Ⅲ 次の文章は、横光利一の小説「花園の思想」(初出「改造」第九卷第二号、一九二七年二月一日発行)の一部です。これを読んで、後の問いに答えなさい。(引用は、『底本 横光利一全集』第二卷、河出書房新社、一九八一年)

(3枚目/4枚中)

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

出典は次のとおりです。

『底本 横光利一全集』第2巻(河出書房新社、1981年) p.356, l.3-p.360, l.2

問

- (イ) 傍線部A「バルコオンの梯子は白い背骨のやうに突き出てゐた」は、この文章にどのような表現上の効果をもたらしているか、論じなさい。
- (ロ) 傍線部Bについて、「静かな真空のやうな虚無」とはどういうことか、論じなさい。
- (ハ) 本作品の表現上の特徴について出来るだけ詳しく分析し、その文学史的な意味について論じなさい。

令和4（2022）年度  
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻  
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学選抜試験問題  
人文学専攻 比較・対照言語学コース 専門試験  
〔問題用紙は3枚です。〕  
（1枚目/3枚中）

★一題ごとに別の解答用紙を用い、問題番号を記入すること。

I. 以下の用語のうちから5つを選んで、日本語で説明しなさい。

- |                                     |                                 |
|-------------------------------------|---------------------------------|
| (1) Reference point                 | (9) Scalar implicature          |
| (2) Grounding                       | (10) Strong and weak islands    |
| (3) Morpheme                        | (11) Verner's Law               |
| (4) Functional sentence perspective | (12) Umlaut                     |
| (5) C-command                       | (13) Preterite-present verb     |
| (6) Cooperative principle           | (14) Ablaut                     |
| (7) Complementary distribution      | (15) Strong and weak inflection |
| (8) Conversion (in word formation)  |                                 |

II. 以下の3つの英文の中から2つを選んで、日本語に直しなさい。

(A)

[出典: Brown, K. & J. Miller (2016) *A Critical Account of English Syntax*. Edinburgh University Press. p.15, l.19-1.33 一部省略]

(B)

[出典: Fillmore, C., P. Kay & M. C. O'Connor (1988) "Regularity and Idiomaticity in Grammatical Constructions: The Case of *Let Alone*." *Language* 64-3, p. 504, l. 1-1.14]

(2枚目／3枚中)

(C)

[出典: Renfrew, Colin (1989) *Archaeology and Language*. Penguin Books. p.9, l.1-l.13 一部改変]

III. 以下の2つの設問から1つを選んで日本語で答えなさい。

(A) 次の対義語の形容詞のペア(e.g., *wet-dry*)とそれらを修飾する副詞 *almost* との共起関係に関するデータを見て、このような分布になる理由について、考察しなさい。ただし、“#”はその文が意味的に奇妙であることを表します。

- (1) a. The towel is wet, but it is almost dry.  
b. #The towel is dry, but it is almost wet.
- (2) a. The glass is dirty, but it is almost clean.  
b. #The glass is clean, but it is almost dirty.
- (3) a. I am sick but almost healthy.  
b. #I am healthy but almost sick.
- (4) a. John is hungry, but he is almost satiated.  
b. #John is satiated, but he is almost hungry.

[出典: Rotstein, C. & Y. Winter (2004) “Total Adjectives vs. Partial Adjectives: Scale Structure and Higher-Order Modifiers.” *Natural Language Semantics* 12. p. 267, l. 11-l.18.]

(B) 古英語 *stan* [sta:n] が今の英語 *stone* [stoun] になったように、英語の母音はここ 1000 年の間に大きく変化しました。英語におけるこのような母音の変化全体について解説し、そのような変化が生じた原因について検討しなさい。

(3枚目／3枚中)

IV. 以下の日本語文を英語に直しなさい。

[出典：住吉誠(2016)『談話のことば2 規範からの解放』研究社. p.9.1.11-1.18.]

令和4（2022）年度  
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻  
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題  
日本学専攻 基盤日本学コース（現代日本学受験分野） 専門試験

〔問題用紙は1枚です。〕

（1枚目/1枚中）

〔Ⅰ〕日本研究の観点から、「ナショナリズム」について論じなさい。

〔Ⅱ〕次の項目から、4項目を選び、各項目について5行程度で説明しなさい。

- (1) 中井竹山・中井履軒      (2) 徳富蘇峰      (3) 沖縄方言論争      (4) 学徒動員  
(5) サンフランシスコ平和条約      (6) 岡本太郎      (7) 鶴見和子      (8) 『苦海浄土』  
(9) ウーマンリブ      (10) 多文化共生      (11) インターセクショナリティ      (12) 文化相対主義

〔Ⅲ〕次の4問のうちの1つを選んで答えなさい。

- (1) 日本思想史上の論争を1つ以上取り上げ、その位置づけと意義について論じなさい。  
(2) 第二次世界大戦後の日本の視覚文化について、視点を設定して具体的に論じなさい。  
(3) オーラルヒストリーによって論じることができる「事実」以外の側面を多角的に述べなさい。  
(4) 「地上戦」という観点から、アジア太平洋戦争の戦場となった国々や地域の被災状況を比較して論じなさい。



(一枚目／八枚中)

令和四(二〇二二)年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻

(博士前期課程／一般選抜・秋期試験) 入学者選抜試験問題

日本学専攻 基盤日本学コース(日本史学受験分野) 専門試験

【注意】問題用紙は全部で八枚あります。解答用紙は横長に使い、縦書きで解答して下さい。

(I) 次の問いに答えなさい。

〔45点〕

古代・中世・近世・近現代のそれぞれの時代における女性を一人ずつ取り上げ、各時代における女性と政治の関係について具体的に述べなさい。

(II) 次の歴史的名辞(1)～(4)のうち三つを選び、研究史上の論点をふまえてつづ説明しなさい。

〔30点〕

(1) 長屋王の変

(2) 運慶

(3) 寛永の飢饉

(4) 枢密院

(問題文は次に続く)

(二枚目／八枚中)

(Ⅲ) 次の設問(1)～(4)のうち、二つを選んで答えなさい。

[50点]

- (1) 次の史料は、黒板勝美・国史大系編修会編『新訂増補国史大系 22 律・令義解』(完成記念版、吉川弘文館、一九六六年)からの引用である。『令義解』営繕令在京営造条を読んで、①②の問いに答えなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

〔黒板勝美・国史大系編修会編『新訂増補国史大系 22 律・令義解』(完成記念版、吉川弘文館、一九六六年) 二二二頁〕

① 注釈部分(細字双行)を漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。その際、漢字は旧字体ではなく、新字体に改めること。

② 注釈部分(細字双行)もふまえ、本条の内容について説明しなさい。

(問題文は次に続く)

(三枚目／八枚中)

(2) 次の史料は、『大日本古文書 家わけ第七 金剛寺文書』(東京大学出版会、一九二〇年発行、一九七九年覆刻) 三〇・三一頁からの引用である。この史料を読んで、①②③④の問いに答えなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【東京大学史料編纂所編『大日本古文書 家わけ第七 金剛寺文書(覆刻版)』(東京大学出版会、一九七九年) 三〇―三一頁】

- ① 文書名を答えなさい。
- ② 傍線 a の留守所について解説しなさい。
- ③ 傍線 b を漢字(新字体)・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。
- ④ 傍線 c を漢字(新字体)・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。

(問題文は次に続く)

(四枚目／八枚中)

- (3) 次の史料は、仙台市史編さん委員会編『仙台市史 資料編十三 伊達政宗文書四』(仙台市、二〇〇七年)所収の史料であり、伊達政宗の書状案である。この史料を読んで、①、②の問いに答えなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【仙台市史編さん委員会編『仙台市史 資料編十三 伊達政宗文書四』(仙台市、二〇〇七年) 七二―七三頁】

- ①この史料の「去月」から「奉頼候」までを漢字(新字体)・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。
- ②この史料の「去月」から「恐々謹言」までを現代語訳しなさい。

(問題文は次に続く)

(五枚目／八枚中)

(4) 次の史料は、石橋湛山が『東洋経済新報』大正三年(一九一四)十一月一五日号に掲載した社説「青島は断じて領有すべからず」の一節である。この史料を読んで、①～④の問いに答えなさい。なお、史料は一部改変した箇所もある。

青島陥落が吾輩の予想より遙かに早かりしは、同時に戦争の不幸のまた意外に少なかりし意味において、国民と共に深く喜ぶ処なり。しかれども、かくて我が軍の手に帰せる青島は、結局いかに処分するを以て、最も得策となすべきか。これ実に最も熟慮を要する問題なり。

この問題に対する吾輩の立場は明白なり。アジア大陸に領土を拡張すべからず、満洲も宜しく早きに<sup>よ</sup>進んでこれを放棄すべし、とはこれ吾輩の宿論なり。更に新たに支那山東省の一角に領土を獲得する如きは、害悪に害悪を重ね、危険に危険を加うるもの、断じて反対せざるを得ざる所なり。

そもそも青島を我が領土となすことによつて、果して極東平和の増進に効ありやというに、吾輩の所見にては、寸益なくしてかえつて舞台を險惡に置くの害あるを虞る。吾輩は本来、独逸の青島租借、山東経営を以て、格別東洋の平和を危うするの害あるを認めず、かえつて支那富源の開発繁栄の増進に大効あることを信ずるものなるが、仮りに、我が政府当局および世人の多数の考うる如く、東洋の平和に害ありとせん。しかれども独逸を支那大陸の一角より驅逐して、日本が代つてその一角に盤踞すれば、それが、何故に東洋の平和を増進することとなり得るや。換言すれば、独逸が青島をもてば東洋の平和に有害なれども、日本が青島をもてば東洋の平和に害なしという理由如何。もし支那以外の国が、支那領土の一部を領有することが、支那分割の端を<sup>い</sup>啓き、あるいは支那における列國の機会均等主義を破り、支那を舞台とする國際關係を險惡に導くというならば、独逸の青島領有の平和に害ある如く、日本これを領有するもまた、均しく有害ならざるを得ず。(中略)

戦争中の今日こそ、仏人の中には、日本の青島割取を至当なりと説くものあるを伝うといえども、這次の大戦もいよいよ終りを告げ、平和を回復し、人心落着きて、物を觀得る暇に至れば、米國は申すまでもなく、我に好意を有する英仏人といえども、必ずや愕然として畏る所を知り、我が國を目して極東の平和に対する最大の危險國となし、欧米の國民が互いに結合して、我が國の支那における位地の顛覆に努むべきは、今より想像し得て余りあり。かくて我が國の青島割取は實に不拔の怨恨を支那人に結び、欧米列強には危險視せられ、決して東洋の平和を増進する所以にあらずして、かえつて形勢を切迫に<sup>きつぱ</sup>道くものにあらずや。

這回の戦争において、独逸が勝つにせよ負くるにせよ、我が國が独逸と開戦し、独逸を山東より驅逐せるは、我が外交第一着の失敗なり。もしそれ我が國が独逸に代つて青島を領得せば、これ更に重大なる失敗を重ねるものなり。その結果は、あにただ我が國民に更に限りなき軍備拡張の負担を強ゆるのみならんや。青島の割取は断じて不可なり(松尾尊兌編『石橋湛山評論集』、岩波書店、一九八四年、五一―五四頁)

- ①傍線aに関連して、この段落で石橋湛山は彼らの主張の矛盾を鋭く指摘している。この矛盾の内容を史料に即して説明しなさい。
- ②文中の『』で括った部分の内容を史料の記述に即して正確にまとめなさい。
- ③傍線bに関連して、日本が第一次世界大戦で得た青島をはじめとする山東省の利権は、第一次世界大戦の講和においてどのように扱われたか、知るところを述べなさい。
- ④傍線cに関連して、当時の第二次大隈重信内閣の軍備拡張政策について知るところを述べなさい。

(問題文は次に続く)

(六枚目／八枚中)

(Ⅳ) 次の設問(1)～(3)のうち、一つを選んで答えなさい。

[25点]

(1) 次の古文書を漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。解答にあたっては、できるだけ原文にしたがって改行すること。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【京都府立京都学・歴彩館「東寺文書Web」:

<http://hyakugo.pref.kyoto.lg.jp/contents/detail.php?id=28475>】

(問題文は次に続く)

(七枚目／八枚中)

(2) 次の古文書の見取書(くずし字をそのまま現在の文字に置きかえて写すこと)を記しなさい。なお、原文にしたがって改行すること。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【国立公文書館内閣文庫編『内閣文庫影印叢刊 諸牒餘録 上』(同、一九七三年) 二九五頁】

(問題文は次に続く)

(八枚目／八枚中)

(3) 次の史料は、一八八二年一〇月一三日に、高平小五郎駐米臨時代理公使が吉田清成外務大輔に送った書簡である。この史料の「」で囲んだ部分について、見取書(くずし字をそのまま現在の文字に置きかえて写すこと)を記しなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【京都大学文学部日本史研究室編『吉田清成関係文書二書翰篇二』(思文閣出版、一九九七年)口絵写3(翻刻は二二二頁)】



令和4（2022）年度  
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻  
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題  
日本学専攻 基盤日本学コース（考古学受験分野） 専門試験  
[問題用紙は2枚です。]  
（1枚目/2枚中）

問1 考古学における型式学的研究の主要な方法を3つ挙げて、中心的な実践者の名を含めて、その内容を詳しく述べなさい。

問2 古墳時代の時期区分について、以下の問いに答えなさい。

- （1）古墳時代の時期区分にかんする研究史の展開と現状を詳しく述べなさい。
- （2）古墳時代各時期の暦年代について、根拠となる資料や研究を示しながら、あなたの理解するところを述べなさい。

問3 次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい。

- （1）全体を日本語に訳しなさい。
- （2）ここで説明されている遺構の構造に類似した日本または海外の事例を一つ掲げ、その内容を述べなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Grahame Clark, 1957, *Archaeology and Society*, Methuen, p.128, ll.22-33.

(2枚目／2枚中)

問4 次の語句等について、それぞれ詳しく説明しなさい。

- (1) 水月湖
- (2) 大平山元遺跡
- (3) 安満遺跡
- (4) 塚崎古墳群
- (5) 海南長鼓山古墳
- (6) 元興寺
- (7) Skara Brae
- (8) クリスチャン・トムセン

大阪大学大学院人文科学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻  
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験） 入学者選抜試験問題

日本学専攻 基盤日本学コース（日本文学・日本語史学受験分野） 専門試験

〔問題用紙は六枚です。〕

（一枚目／六枚中）

〔一〕 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（この問題については解答用紙一枚を用い、縦書きにすること）

また、男、いささか人に、いはれさはがることありけり。そのこと、いとものはかなきそらごとを、あためける人の、作りいでて、いへるなりけり。さりければ、かう心憂きことと、思ひなぐさめがてら、心もやらむと思ひて、津の国の方へぞいきける。しのびて、知る人のもとに、「かうてなむまかる。憂きことなど、慰みやする」といへりければ、

A世の憂きを思ひながすの浜ならば我さへともにゆくべきものとある返し、

憂きことよいかで聞かじと被<sup>は</sup>へつつ違<sup>ちが</sup>へながすの浜ぞいざかしとて、いにけり。

いきつきて、長洲の浜にいでて、綱引かせなど、遊びけるに、うらうらと、春なりければ、海いとどこかになりて、夕暮になるまに、いつの間にか思ひけむ、憂かりし京のみ恋しくなりゆきければ、思ひながめつつ、心のうちにいはれける。

Bはるばると見ゆる海べをながむれば涙ぞ袖の潮と満ちける

いささか人にいはれさはがることありけり  
そのこといとものはかなきそらごとを  
あためける人の作りいでていへるなりけり  
さりければかう心憂きことと思ひなぐさめがてら  
心もやらむと思ひて津の国の方へぞいきける  
しのびて知る人のもとに「かうてなむまかる  
憂きことなど慰みやする」といへりければ  
A世の憂きを思ひながすの浜ならば我さへ  
ともにゆくべきものとある返し  
憂きことよいかで聞かじと被へつつ  
違へながすの浜ぞいざかしとていにけり  
いきつきて長洲の浜にいでて綱引かせなど  
遊びけるにうらうらと春なりければ  
海いとどこかになりて夕暮になるまに  
いつの間にか思ひけむ憂かりし京のみ  
恋しくなりゆきければ思ひながめつつ  
心のうちにいはれける  
Bはるばると見ゆる海べをながむれば  
涙ぞ袖の潮と満ちける

（『平中物語』）

問一 傍線部のような行動を取った理由をわかりやすく説明しなさい。

問二 Aの歌を掛詞に注意しながら現代語訳しなさい。

問三 Bの歌を、上句と下句の繋がりに注意しながら現代語訳しなさい。

問四 画像になっている六行分を正確に翻刻しなさい。

〔二〕次の文章は小林好日『日本文法史』（昭和十一年）の形容詞についての一節です。これを読んで、後の問いに答えなさい。（この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること）

平安朝時代になつて音韻變化の爲に形容詞の語形に著しい變化が起つた。それはイ音便もしくはウ音便である。

イ音便は連體形にあらはれてゐる。

に。く。い。こ。を。引。き。出。で。む。ぞ。あ。や。し。き。紫式部日記

よ。し。な。い。こ。は。き。こ。え。で。と。い。へ。ば。落窪

さ。ず。が。に。若。い。人。に。ひ。か。れ。て。更級

あ。は。つ。け。い。様。に。世。人。は。も。ど。く。な。り。し。か。ど。源氏竹川

顔。に。は。べ。に。し。ろ。い。も。の。を。つ。け。た。ら。ん。や。う。な。り。榮花

それ。を。だ。に。苦。い。こ。と。に。こ。そ。思。さ。れ。た。め。れ。源氏胡蝶

今日の口語の連體形は、皆この形の繼續であるが、文語には「かな」といふ助詞に續く場合にのみ限つて現れる。

感ぜしいかな

ウ音便は連用形にあらはれたものである。

雪。た。か。う。降。る。日。宇津保

い。み。じ。う。み。ぞ。れ。降。る。夜。源氏帚木

今日の關西方言はこの形を傳へてゐる。それ故に、この形は東西で慣習を異にしてゐる。

（東） 赤く 美しく

（西） 赤う 美しく

たゞ例外として東京語でも、「ございます」を附けるときには、この音便化してゐる連用形を用ひて、「おはやうございます」「堅うございます」「なごい云ふ。しかもこれも、「なごいます」ともなつた一種の慣用語のごとき場合のことです。「なごいました」とか「なごいません」とかなつたり、又、殊にその間に助詞を挟む場合には、この音便形は使はないこともある。

背はあまり高くございません

おしくもございません

② ウ音便はもと／＼關東方言には無いのであつて、例外として「なごいます」につゞく時にのみこの現象のあるのは、全く關西方言の混じたものである。丁寧な言葉づかひに古く關西方言を使つた名残とおもはれる。「なごいます」につゞく時でも、連結する形の多少の變化によつてウ音便にならないのは、その故であらう。

イ音便は平安朝には連體形に限られたが、鎌倉時代には名詞法にもこの形を生じて、

鬘。鬘。ノ。黒。ハ。如何ニト宣。ヘハ。平家。七

のごときもあらはれ、室町時代に一般に連體形が終止形を同化するに及んで、終止形としても現れるに至つた。

尺三。千。ト。セ。ラ。レ。タ。ハ。文。字。ガ。ツ。マ。リ。テ。聯。句。ナ。ン。ド。ノ。ヤ。ウ。デ。ワ。ル。イ。中。華。若。木。詩。抄。上

日。影。ヲ。見。タ。ト。云。フ。ハ。注。ガ。ナ。イ。源。求。抄。三

少。々。仰。下。シ。タ。此。僧。只。者。テ。ハ。無。イ。源。巖。抄。八

馬。大。師。推。過。シ。テ。人。ニ。讓。タ。モ。好。イ。同。八

これが今日も終止形として用ひられる形である。

問一 傍線部①「文語」は、ここでは、どのような意味で使われているのか、簡単に述べなさい。

問二 傍線部②で書かれるような、「もともと関東方言に無い」、「関西方言の混じた」ものが、「東京語」において使われるようになったことについて、文中に示される「丁寧な言葉つかひに古く関西方言を使った」ことの影響などにも言及しつつ、その経緯について知るところを述べなさい。

問三 傍線部③「名詞法」は、ここでは、どのような意味で使われているのか、簡単に述べなさい。

問四 傍線部④「室町時代に一般に連体形が終止形を同化する」ということについて、文章末の「これが今日も終止形として用ひられる形である」ということについても説明しながら、知るところを述べなさい。

\*日本文学を専攻する予定のものは三(A)を、日本語史を専攻する予定のものは三(B)を選択しなさい。

三(A) 次の文章は、森鷗外の小説『文づかひ』の一部です。これを読んで、後の問いに答えなさい。

(この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること)

《引用は『鷗外全集 第二巻』(岩波書店、一九七二)二九〇三三頁》

(四枚目/六枚中)

それがしの宮の催したまひし星が岡茶寮の獨逸會に、洋行がへりの將校次を逐うて身の上ばなしせし時のことなりしが、こよひはおん身が物語聞くべき筈なり、殿下も待兼ねておはすればと促されて、まだ大尉になりて程もあらじと見ゆる小林といふ少年士官、口に啣へし巻煙草取りて火鉢の中へ灰振り落して語りは始めぬ。

わがザツクセン軍團につけられて、秋の演習にゆきし折、アラゲキツツ村の邊にて、對抗は既に果て、假設敵を攻むべき日とはなりぬ。小高き丘の上に、まばらに兵を配りて、敵と定めおき、地形の波面、木立、田舎家などを巧に楯に取りて、四方より攻寄するさま、めづらしき壯觀なりければ、近郷の民こゝにかしこに群をなし、中に雜りたる少女等が黒天鵝絨の胸當咄れがましう、小皿伏せたるやうなる縁狭き笠に艸花插したるもをかしと、携へし目がね忙はしくかなたを見廻らす程に、向ひの岡なる一群きは立てゆかしう覺えぬ。

九月はじめの秋の空は、けふしもこゝに稀なるあふ色になりて、空氣透徹りたれば、殘る隈なくあざやかに見ゆるこの群の真中に、馬車一輛停めさせて、年若き貴婦人いくたりか乗りたれば、さまざまの衣の色相映じて、花一叢、にしき一團、目もあやに、立ちたる人の腰帶、坐りたる人の帽の紐などを、風ひら／＼と吹靡かしたり。その傍に馬立てたる白髪の翁は角扣紐とめにせし緑の獵人服に、うすき褐いろの帽を戴けるのみなれど、何となく由ありげに見ゆ。すこし引下がりて白き胸控へたる少女、わが目がねはしはしこれに留まりぬ。鋼鐵いろの馬のり衣裾長に着て、白き薄絹巻きたる黒帽子を被りたる身の掛けだかく、今かなたの森蔭より、むら／＼と打出でたる獵兵の勇ましき見むとて、人々騒げどかへりみぬさま心憎し。

「殊なるかたに心留めたまふものかな。」といひて軽く我肩を拍ちし長き八字髭の明色なる少年士官は、おなじ大隊の本部につけられたる中尉にて、男爵フオン、メルハイムといふ人なり。「かしこなるは我が融れるデウベンDeubenの城のぬしビュロオ伯が一族なり。本部のこよひの宿はかの城と定まりたれば、君も人々に交りたまふたつきあらむ。」と言畢る時、獵兵やう／＼わが左翼に迫るを見て、メルハイムは馳去りぬ。この人と我が交りせめしは、まだ久しからぬ程なれど、善き性とおもはれぬ。

寄手丘の下まで進みて、けふの演習をはり、例の審判も果つるほどに、われはメルハイムと俱に大隊長の後につきて、こよひの宿へいそぎゆくに、中高に造りし「シヨツセエ」道美しく切株残れる麥畑の間をうねりて、をり／＼水音の耳に入るは、木立の彼方を流るゝムルデ河に近づきたるなるべし。大隊長は四十の上を三つ四つも踰えたらむとおもはるゝ人にて、髪はまだふかき褐いろを失はねど、その赤き面を見れば、はや額の波いちじるし。質樸なれば言葉すくなきに、二言三言めには、「われ一個人にとりては」とことわる癖あり。遽にメルハイムのかたへ向きて、「君がいひなづけの妻の待ちてやあるらむ、」といひぬ。「許し玉へ、少佐の君。われにはまだ結髪くつぱつの妻といふものなし。」「さなりや。我言をあしう思ひとり玉ふな。イイダの君を、われ一個人にとりては斯くおもひぬ。」かく二人の物語する間に、道はデウベン城の前にいでぬ。園をかこめる低き鐵柵をみぎひだりに結ひし眞砂路一線に長く、その果つるところに舊りたる石門あり。入りて見れば、しろ木槿の花咲きみだれたる奥に、白壁塗りたる瓦葺の高どのあり。その南のかたに高き石の塔あるは埃及の尖塔にならひて造れりと覺ゆ。けふの泊のことを知りて出迎へし「リフレエ」着たる下部に引かれて、白石の階のぼりゆくとき、園の木立を洩るゆふ日朱の如く赤く、階の兩側に蹲りたる人首獅子の「スフィンクス」を照したり。わがはじめて入る獨逸貴族の城のさまいかならむ。さきに遠く望みし馬上の美人はいかなる人にか。これらも皆解きあへぬ謎なるべし。

四方の壁と穹窿くわうりやうとは、鬼神龍蛇さまざまの形を畫き、「トルウヘ」といふ長楯めきたるものところ／＼に据え、柱には刻みたる獸の首、古代の櫓、打物などを懸けつらねたる間、いくつか過ぎて、樓上に引かれぬ。

ビュロオ伯は常の服とおぼしき黒の上衣のいと寛きに着替へて、伯爵夫人ともここに居り、かねて相識れる中なれば、大隊長と心よげに握手し、われをも引合はさせて、胸の底より出づるやうなる聲にてみづから名告り、メルハイムには「よくぞ来玉ひし」と軽く會釋しぬ。夫人は伯よりおいたりと思ゆるほどに起居重けれど、こゝろの優しさ目の色に出でたり。メルハイムを傍へ呼びて、何やらむししばしやくほどに、伯。「けふの疲さぞあらむ。まかりて憩ひ玉へ。」と人して部屋へ誘はせぬ。

われとメルハイムとは一つ部屋にて東向なり。ムルデの河波は窓の直下のいしづゑを洗ひて、むかひの岸の草むらは緑まだあせず。そのうしろなる柏の林にゆふ鶯かゝれり。流めての方にて折れ、こなたの陸膝がしらの如く出でたところに田舎家二三軒ありて、眞黒なる粉ひき車の輪中空に聳え、ゆん手には水に枕みてつき出したる高殿の一聞あり。この「バルコン」めきたるところの窓、打見るほどに開きて、少女のかしら三つ四つ、をり疊なりてこなたを覗きしが、白き馬に騎りたりし人はあらざりき。軍服ぬぎて鹽卓の傍へ倚らむとせしメルハイムは、「かしこは若き婦人がたの居間なり、無禮なれどその窓の戸疾くさしてよ、」とわれに請ひぬ。

日暮れて食堂に招かれ、メルハイムと俱にゆくをり、「この家に若き姫達の多きことよ、」と問ひつるに。「もと六人ありしが、一人は吾友なるフアブリス伯に嫁ぎて、のこれるは五人なり。」「フアブリスとは國務大臣の家ならずや。」「さなり、大臣の夫人はこのあるじの姉にて、吾友といふは大臣のよつぎの子なり。」

食卓に就きてみれば、五人の姫達みなおもひ／＼の粧したる、その美しいづればあらぬに、上の一人の上衣も装も黒きを着たるさま、めづらしと見れば、これなんさきに白き馬に騎りたりし人なりける。外の姫たちは日本人めづらしく、伯爵夫人のわが軍服装めたまふ言葉の尾につきて、「黒き地に黒き紐つきたれば、フラウンシュワイヒの士官に似たり、」と一人いへば、桃色の顔したる末の姫、「さにてもなし、」とまだいわけなくもいやしむいろえ包までいふに、皆をかしさに堪へねば、あかめし顔を汗盛れる皿の上に低れぬれど、黒き衣の姫は臆だに動さざりき。暫しありて穉き姫、さきの罪贖はひとやおもひけむ、「されどかの君の軍服は上も下もくろければイ、ダや好みたまはむ、」といふを聞きて、黒き衣の姫振向きて睨みぬ。この目は常にをち方にのみ迷ふやうなれど、一たび人の面に向ひては、言葉にも増して心をあらはせり。いま睨みしさまは笑を帯びて阿りきと覺ゆ。われはこの末の姫の言葉にて知りぬ、さきに大隊長がメルハイムのいひなづけの妻ならむといひしイ、ダの君とは、この人のことなるを。かく心づきてみれば、メルハイムが言葉も振舞も、この君をうやまひ愛づと見えぬはなし。さては此中はビュロオ伯爵夫婦もこゝろに許したまふなるべし。イ、ダといふ姫は丈高く瘦肉にて、五人の若き貴婦人のうち、此君のみ髪黒し。かの善くものいふ目を餘所にしては、外の姫たちに立ちこえて美しとおもふところもなく、眉の間にはいつも皺少しあり。面のいろの蒼う見ゆるは、黒き衣のためにや。

問一 波線部で、皆が笑つたのはなぜだと考えられますか。わかりやすく説明しなさい。

問二 「イ、ダの君」はどのような存在として描かれていますか。本文に基づいて説明しなさい。

問三 この作品の語りの特徴を説明しなさい。

問四 森鷗外について、知っていることを述べなさい。

(この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること)

## (六枚目／六枚中)

\*日本文学を専攻する予定のものは三(A)を、日本語史学を専攻する予定のものは三(B)を選択しなさい。

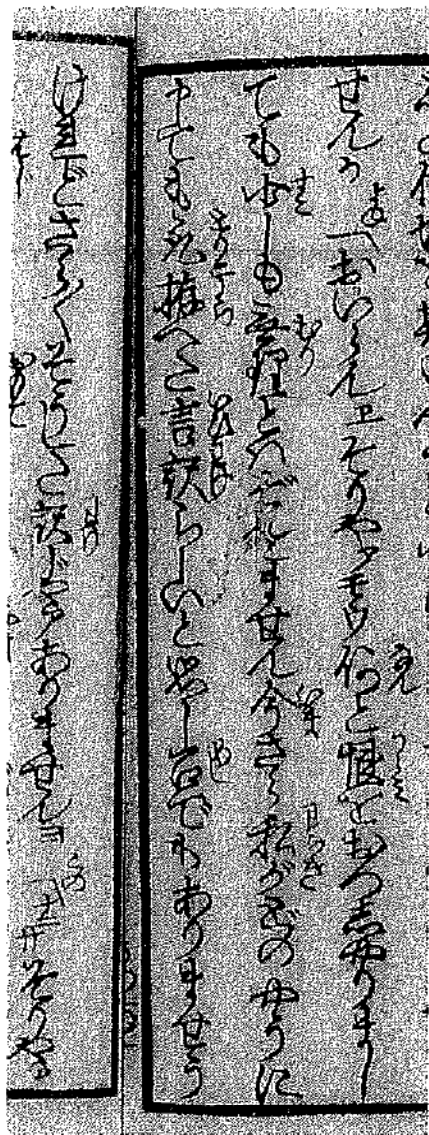
三(B) 次の問いに答えなさい。(この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにする

こと)

(一) 以下の事柄について、知るところを述べなさい。

(イ) 声点 (ロ) 二段活用の一段化

(二) 以下は『春色梅児誉美』(一八三二―一八三三)巻六の影印と、その一部を翻刻したものである。翻刻した会話文、芸者米八よねはちから遊女此糸このいとへのせりふの範囲から、自分なりの日本語史上の問題(研究テーマ)を一つ設定し、その問題設定に対する調査方法を具体的に書きなさい。



「おいらんエ そりやアモウ何(なん)と恨(うらみ)をおつしやりましても少(すこ)しも無理(むり)とはぞんじません 今(いま)さら私(わたくし)がどのやうに申ても取替(とりか)りこしらへた言訳(いひわけ)らしいと思し召(めし)でもありませんけれどさら／＼そうした訳(わけ)じやありませんヨ」



令和4（2022）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻  
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題  
日本学専攻 基盤日本学コース （基盤日本語学受験分野） 専門試験

〔1〕 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。答案は横書きで記しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

樺島忠夫（1981）『日本語はどう変わるか―語彙と文字―』岩波新書、7頁8行～10頁14行

- 問1 傍線部（a）の「伝統重視の態度」と「言葉の現在的機能を重視する態度」の違いは何か、本文に即して説明しなさい。
- 問2 現在の日本語をめぐって観察される「伝統重視の態度」と「言葉の現在的機能を重視する態度」について、本文中の例以外の例をそれぞれひとつずつ挙げながら説明しなさい。
- 問3 傍線部（b）「未来の日本語はどんな姿になるのだろうか？」について、考えるところを自由に述べなさい。

〔2〕 次の12項目のなかから5項目を選び、それぞれについて5行から10行程度で説明しなさい。

- （1）書きことば
- （2）語彙調査
- （3）等位関係
- （4）メトニミー
- （5）言語記号の恣意性
- （6）語順の類型
- （7）地位計画
- （8）わきまえ
- （9）新方言
- （10）ら抜き言葉
- （11）トランスランゲージング
- （12）行為指示

〔3〕 あなたが今後研究しようとするテーマに関連するキーワードを5つ挙げ、それぞれについて5行から10行程度で説明しなさい。

令和4（2022）年度  
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻  
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題  
芸術学専攻 アート・メディア論コース 専門試験  
[問題用紙は4枚です。]  
（1枚目/4枚中）

問1 次に挙げる12の用語もしくは固有名詞のなかから自由に5つを選び、それぞれを5行程度の日本語で説明しなさい。

- |                 |                                                    |
|-----------------|----------------------------------------------------|
| (1) イヤー・フォノトグラフ | (2) サウンド・アート                                       |
| (3) 渡辺節（建築家）    | (4) ゲニウス・ロキ                                        |
| (5) ジョルジュ・メリエス  | (6) ディープ・フォーカス                                     |
| (7) レパートリー・システム | (8) ロベール・ルパージュ                                     |
| (9) 「社会彫刻」      | (10) 大ドイツ芸術展 (Die Große Deutsche Kunstausstellung) |
| (11) ロイ・フラー     | (12) オーセンティシティ                                     |

問2 次に挙げる6つの設問A～Fの中から自由に2つを選び、日本語で解答しなさい。

A. 新型コロナウイルス感染症の影響によってコンサートホールやライブハウスでの音楽の上演が中止されたことで、音楽のネット配信に起こった変化と今後の展望について、具体的な事例を挙げて記述しなさい。

B. 東京・丸の内の赤煉瓦のオフィスビル「三菱一号館」(J. コンドル設計、1894年竣工)は、1968年に老朽化を理由に一旦取り壊されたのち、2010年に、取り壊し当時に作成された詳細な図面資料に基づいて同じ場所に完全再現され、美術館として公開された(別紙1・図A、B)。この建物について、以下の2つの問に答えなさい。

①40年以上の空白期間を経たのちに再現された三菱一号館は、「景観の記憶」という点からは、どのような評価が可能であるか、あなたの考えを述べなさい。

②この再現プロジェクトに対し、「いつでも古建築を完璧に再現できるのなら、再び取り壊しても構わないのではないか」との極端な意見がある。この意見に対して、「歴史的建造物の保存」の観点から、有効な反論を提示しなさい。

C. 物語世界の音が効果的に使用されている映画作品の例を挙げ、具体的な場面を分析しながら、映画と音響の関係について論じなさい。

(2枚目／4枚中)

D. 演劇の上演作品では俳優の話す言葉だけではなく、しばしば「文字」が使われます。舞台背景に含まれる多様な「文字」、あるいは通訳や解釈のための「字幕」なども上演の一部となる。演劇上演におけるこれらの「文字」の機能と演劇的意義について、具体的な例を示しながら説明しなさい。

E. 別紙2・図Cはある展覧会会場の写真である。この展覧会について知っていることを記し、この展覧会ならびに写真の光景について考えることを述べなさい。

F. 没後40年を迎えたマーシャル・マクルーハンのテーゼ「メディアはマッサージである」について、理解するところを述べなさい。

**別紙 1**  
(3 枚目／4 枚中)

著作権の都合でカット

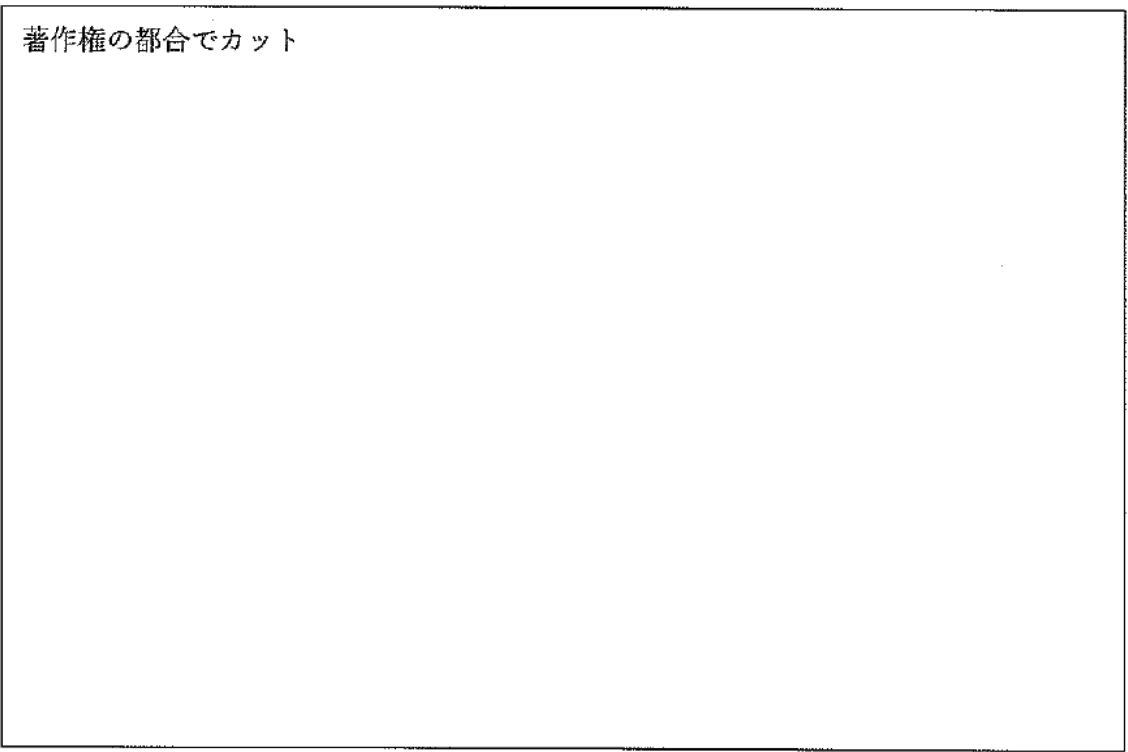


図 A：竣工当初の三菱一号館

[https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/0/0d/First\\_block\\_of\\_mitsubishi\\_co\\_building.gif](https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/0/0d/First_block_of_mitsubishi_co_building.gif)

著作権の都合でカット

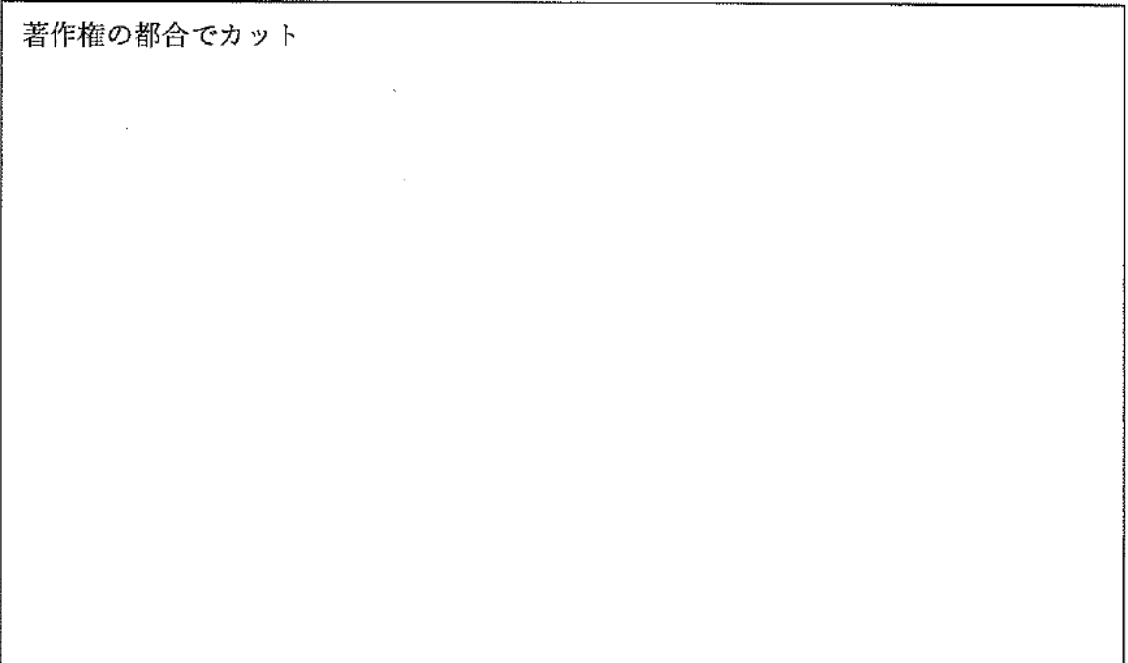


図 B：三菱一号館美術館

[https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/9/93/Mitsubishi\\_Ichigokan\\_Museum.JPG](https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/9/93/Mitsubishi_Ichigokan_Museum.JPG)

別紙 2  
(4 枚目 / 4 枚中)

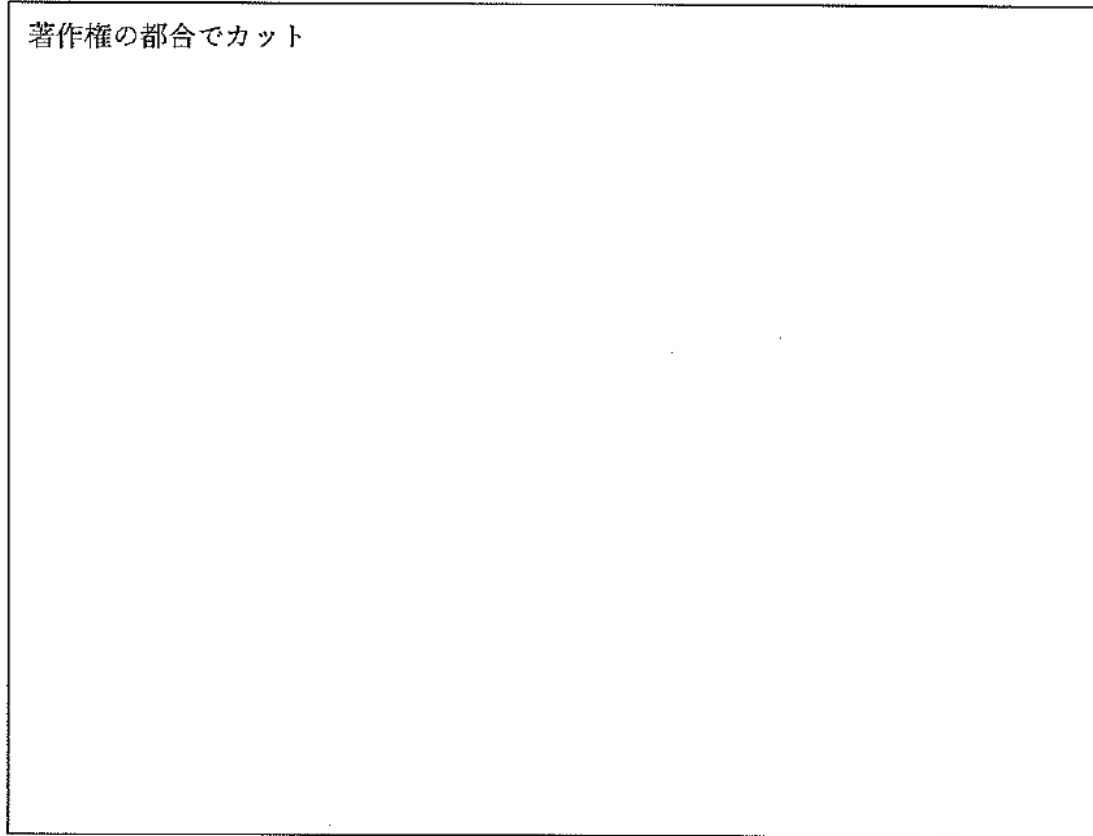


図 C

令和4（2022）年度  
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻  
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題  
芸術学専攻 音楽学・演劇学コース（音楽学受験分野） 専門試験  
[問題用紙は3枚です。]  
（1枚目/3枚中）

以下の問1～3について、解答用紙に「問1」「問2」「問3」と記入した上で、解答しなさい。

問1 以下の用語のうち3つを選び、それぞれ100字程度で説明しなさい。[配点30点]

- |          |                |
|----------|----------------|
| 1) 美的価値  | 2) オウィディウス     |
| 3) 無調の音楽 | 4) ビオ・メハニカ     |
| 5) 切金    | 6) アギア・ソフィア大聖堂 |

問2 別紙Aに掲げる英文を日本語に訳しなさい。[出典：P. Manuel and W. Marshall, "The riddim method: aesthetics, practice, and ownership in Jamaican dancehall", *Popular Music* (2006) Vol.25/3, p.447, 1.1-14.] [配点60点]

問3 別紙Bに掲げる文章を読んで、以下の問いに答えなさい。[出典：岡田暁生『音楽の危機』中央公論新社、2020年、50頁4行～51頁14行] [配点60点]

- (1) ここで提起されている「ライブ音楽／メディア音楽」という区別は、あなたが研究対象としている音楽にとってどのような意味を持つかについて答えなさい。
- (2) その上で、当該分野のみではなく、音楽文化全体にとって、「ライブ音楽／メディア音楽」という区別がもつ意味について論じなさい。

(2枚目/3枚中)

別紙A

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

(3枚目/3枚中)

別紙B

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。



令和4（2022）年度  
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻  
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題  
芸術学専攻 音楽学・演劇学コース（演劇学受験分野） 専門試験  
[問題用紙は4枚です。]  
(1枚目/4枚中)

※日本語で解答を基本とするが、単語については原語を用いても構わない。

問1 以下の用語のうち3つを選び、それぞれ100字程度で説明しなさい。

- |             |             |                 |
|-------------|-------------|-----------------|
| (1) 美的価値    | (2) オウィディウス | (3) 無調の音楽       |
| (4) ピオ・メハエカ | (5) 切金      | (6) アギア・ソフィア大聖堂 |

問2 以下の6つの語すべてについて、それぞれ100字程度で説明しなさい。

- |                |           |                    |
|----------------|-----------|--------------------|
| (1) ベルトルト・ブレヒト | (2) 『桜の園』 | (3) パフォーマンス・スタディーズ |
| (4) 黙阿弥        | (5) 手妻    | (6) 菅原物            |

問3 選択問題です。設問1、設問2のどちらかを選んで解答してください。

設問1) 別紙1はOscar G. Brockett with Franklin J. Hildy, *History of the Theatre*, Eighth Edition, Allyn and Bacon, 1999, pp.426-427. R.I.22-L.I.24の文章です。この文章を読み、(1)～(5)に答えなさい。

- (1) この文章で言及されている劇のうち一つを選び、その梗概を記しなさい。
- (2) 下線部(A) ‘Scribe’s “well-made play”’ のドラマツルギー上の特徴を記しなさい。
- (3) 下線部(B) ‘asides, soliloquies’ はどういう技法か、説明しなさい。
- (4) 第2パラグラフの(C)の部分 (Most often characters who have just returned・・・以下、そのパラグラフの終わりまで) を日本語に訳しなさい。
- (5) 下線部 (D) はどのようなことですか。この文章で言及されている劇に即して具体的に説明しなさい。

設問2) 別紙2は、江戸時代の芸能に関する絵画資料を抜粋したものです。(A『大和耕作絵抄』B～E享保十五年刊『絵本御伽品鏡』、日本名著全集第一期出版江戸文芸之部第30巻『風俗図絵集』、昭和4年、日本名著全集刊行会、222-223、756、760-762頁)。これらについて、(1)～(4)に答えなさい。

- (1) Aの頭書を翻刻しなさい。翻刻の方針は任意で構わない。

(2枚目/4枚中)

- (2) Aはどのような芸能の絵と考えられますか。
- (3) Aの絵から読み解けることは何か。自由に説明しなさい。
- (4) B～Eのなかから2点を選び、それぞれの芸能について知るところを説明しなさい。

**問4** 演劇の特徴として、しばしば上演の「一回性」が指摘されてきました。上演は観客の眼前で上演する一回限りの生ものであるという意味合いです。ですが今日では様々な点でこの「一回性」が疑問に付されています。高度に発達したメディアの技術により複製も可能になりましたし、近年のコロナ禍のもとでは、デジタル配信する上演形式も頻繁に見られるようになりました。そこで、この演劇の「一回性」について、演劇学上の議論を適宜参照しつつ、あなた自身の考え方を述べなさい。

(3枚目/4枚中)

別紙 1

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Oscar G. Brockett with Franklin J. Hildy, *History of the Theatre*, Eighth Edition, Allyn and Bacon, 1999, pp.426-427. R.1.22-L.1.24

(4枚目/4枚中)

別紙2 出典は問題文に記載。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

A『大和耕作絵抄』B～E享保十五年刊『絵本御伽品鏡』、日本名著全集第一期出版江戸文芸之部第30巻『風俗図絵集』、昭和4年、日本名著全集刊行会、222-223、756、760-762頁

令和4（2022）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻

（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題

日本東洋美術史・西洋美術史コース（日本東洋美術史受験分野）専門試験

〔問題用紙は4枚です。〕

問1 以下の用語のうち3つを選び、それぞれ100字程度で説明しなさい。

〔配点30点〕

- 1) 美的価値
- 2) オウィディウス
- 3) 無調の音楽
- 4) ビオ・メハニカ
- 5) 切金
- 6) アギア・ソフィア大聖堂

問2 別紙1の問題に答えなさい。〔配点40点〕

問3 別紙2は住吉具慶画「徒然草画帖」（1678年 東京国立博物館蔵）の一部の詞書（花山院定誠筆）と絵です。上段の詞書全文を翻刻しなさい。〔配点20点〕

問4 別紙3は「金銀錯狩獵文鏡」（中国・戦国時代〔前4～3世紀〕 一面 径17.5cm 永青文庫蔵）です。図様を詳しく記述したうえで、あなたが考えるこの作品の魅力について述べなさい。〔配点60点〕

別紙 1

問題一

次の文は明から渡来した黄檗宗僧の即非如一（一六六一―一六七二）の著作『即非禅師全録』巻四からの抜粋です。これについて後の設問に答えなさい。

画像は著作権等に配慮し、掲載を省略します。

語注

范信士…江戸前期に明から渡来した福建省泉州出身の仏师范道生のこと。字は石甫。

黄檗老人…明からの渡来僧、隠元隆琦のこと。日本黄檗宗の祖。

妙手…妙手。

瞻礼（せんらい）…仰ぎみて礼拝すること。

設問一

一行目「信士范」から三行目「希有」までを書き下し文にきなさい。

設問二

後半は、隠元隆琦が范道生に示した造仏の極意について述べているが、その文中の傍線部②「像之未成、全仏是木、及其成也、全木是仏」の意味するところを述べなさい。

設問三

傍線部①「示之曰」に続いて始まる引用文の終わりの二字を答えなさい。

別紙の図は、著作権等に配慮し掲載を省略します。

3 枚目/4 枚中

別紙の図は、著作権等に配慮し掲載を省略します。

4 枚目/4 枚中



令和4（2022）年度  
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻  
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題  
芸術学専攻 日本東洋美術史・西洋美術史コース（西洋美術史受験分野） 専門試験  
[問題用紙は3枚です。]  
（1枚目/3枚中）

問1 以下の用語の内3つを選び、それぞれ100字程度で説明しなさい。[配点30点]

- |            |            |                |
|------------|------------|----------------|
| 1) 美的価値    | 2) オウィディウス | 3) 無調の音楽       |
| 4) ビオ・メハニカ | 5) 切金      | 6) アギア・ソフィア大聖堂 |

問2 問題用紙2枚目の英文を読み、全文を日本語に直しなさい。[配点60点]

\* 出典：Francis Haskell, *The Ephemeral Museum. Old Master Paintings and the Rise of the Art Exhibition*, Cambridge, New Haven: Yale University Press, 2000: p.107/l.1-p.108/l.9（脚注省略）

問3 問題用紙3枚目の図版を見てその作者、制作地、制作時代を推測し、その根拠を詳しく書いてください。[配点60点]

(2枚目/3枚中)

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は前記のとおりです。

(3 枚目/3 枚中)



Gérard, Marguerite and Fragonard, Jean-Honoré, *Le Chat angora*.

Wallraf-Richartz Museum, Cologne, WRM 3652

図版出典 : wikimedia